

情報セキュリティホワイト ペーパー 1.6 版

株式会社リセ

<https://lisse-law.com/>



目次

| | | |
|--------|----------------------|----|
| 1. | 情報セキュリティホワイトペーパーについて | 4 |
| 1.1. | はじめに | 4 |
| 1.2. | 注意事項 | 4 |
| 1.3. | 本文書の位置付け | 5 |
| 2. | サービス利用時のセキュリティ上の注意点 | 6 |
| 2.1. | 対象とする環境 | 6 |
| 2.1.1. | 利用環境 | 6 |
| 2.1.2. | インターネット環境 | 6 |
| 2.1.3. | ログインセッション | 7 |
| 2.1.4. | Cookie の取り扱い | 7 |
| 2.2. | アカウントの管理 | 7 |
| 2.3. | アクセス許可 | 7 |
| 2.3.1. | アクセス許可すべき URL | 8 |
| 2.3.2. | アクセス許可すべきメールアドレス | 8 |
| 2.4. | お客様の情報について | 8 |
| 3. | セキュリティへの取り組み | 9 |
| 3.1. | 組織の情報セキュリティ | 9 |
| 3.1.1. | データの保管場所と法管轄 | 9 |
| 3.1.2. | お客様との個別の契約 | 9 |
| 3.1.3. | データの閲覧制限 | 10 |
| 3.1.4. | データ利用 | 10 |
| 3.1.5. | 公的認証取得 | 10 |
| 3.1.6. | セキュリティに関する第三者評価 | 10 |
| 3.1.7. | 従業員のセキュリティ教育 | 11 |
| 3.1.8. | お客様への通知 | 11 |
| 3.2. | 物理的セキュリティ対策 | 11 |
| 3.2.1. | オフィスの入退室制限 | 11 |
| 3.2.2. | 情報端末の管理 | 11 |
| 3.3. | サービスの運用 | 12 |
| 3.3.1. | OS 及びソフトウェアの更新 | 12 |
| 3.3.2. | サービスの稼働率 | 12 |
| 3.3.3. | セキュリティ機器の設置 | 12 |
| 3.3.4. | サービス提供終了時 | 12 |

| | | |
|---------|--------------------|----|
| 3.4. | アカウントの発行..... | 12 |
| 3.5. | 認証機能..... | 13 |
| 3.5.1. | 設定できるパスワード..... | 13 |
| 3.5.2. | アカウントロック..... | 13 |
| 3.5.3. | IP アドレスの制限..... | 13 |
| 3.5.4. | 多要素認証..... | 13 |
| 3.5.5. | シングルサインオン..... | 14 |
| 3.6. | 認可機能..... | 14 |
| 3.6.1. | アクセス権..... | 14 |
| 3.6.2. | 不正アクセスの検知..... | 14 |
| 3.6.3. | 入力データ形式の確認..... | 14 |
| 3.7. | 暗号化..... | 14 |
| 3.7.1. | 通信の暗号化..... | 14 |
| 3.7.2. | データの暗号化..... | 15 |
| 3.7.3. | パスワードのハッシュ化..... | 15 |
| 3.8. | サービス基盤の構成..... | 15 |
| 3.8.1. | マルチテナント構成..... | 15 |
| 3.8.2. | システム構成..... | 15 |
| 3.8.3. | マルウェアの検知..... | 16 |
| 3.8.4. | DDos 攻撃への対応..... | 16 |
| 3.8.5. | クロックの同期..... | 16 |
| 3.9. | バックアップ..... | 16 |
| 3.9.1. | バックアップの対象..... | 16 |
| 3.9.2. | バックアップの周期..... | 16 |
| 3.9.3. | バックアップの管理..... | 16 |
| 3.9.4. | バックアップからの復旧..... | 17 |
| 3.10. | ログ..... | 17 |
| 3.10.1. | ログの対象..... | 17 |
| 3.10.2. | ログの保管期間..... | 17 |
| 3.11. | データ管理機能..... | 17 |
| 3.11.1. | 利用履歴の閲覧機能..... | 17 |
| 3.11.2. | お客様によるデータ復元機能..... | 18 |
| 3.12. | 決済機能..... | 18 |
| 3.12.1. | 電子決済..... | 18 |
| 3.13. | 機能の外部公開..... | 18 |
| 3.13.1. | 公開 API..... | 18 |

| | | |
|------|---------------------|----|
| 4. | Appendix | 19 |
| 4.1. | セキュリティチェックシート | 19 |
| 4.2. | 改定履歴 | 22 |

1. 情報セキュリティホワイトペーパーについて

1.1. はじめに

情報セキュリティホワイトペーパー（以下、本文書）は、株式会社リセ（以下、当社）が提供するウェブサービスについて、当社の情報セキュリティへの取り組みと、お客様にご注意いただきたい情報セキュリティ情報を説明する文書となります。

当社のサービスは SaaS（Software as a Service）として提供され、インターネットからアクセスし利用するソフトウェアサービスとなります。お客様よりお預かりした契約書データ等は重要情報として扱われ、セキュリティに配慮されたクラウド上の環境で厳密に管理されるものとします。

| | サービス名 | 概要 |
|---|-------------------|---------------------------------|
| 1 | LeCHECK | 契約書の作成・チェック・翻訳・管理を行うサービス |
| 2 | LeCHECK Word アドイン | LeCHECK のオプションとなる Word アドインサービス |
| 3 | LeTRANSLATE | 契約書などの法務文書専用の翻訳サービス |

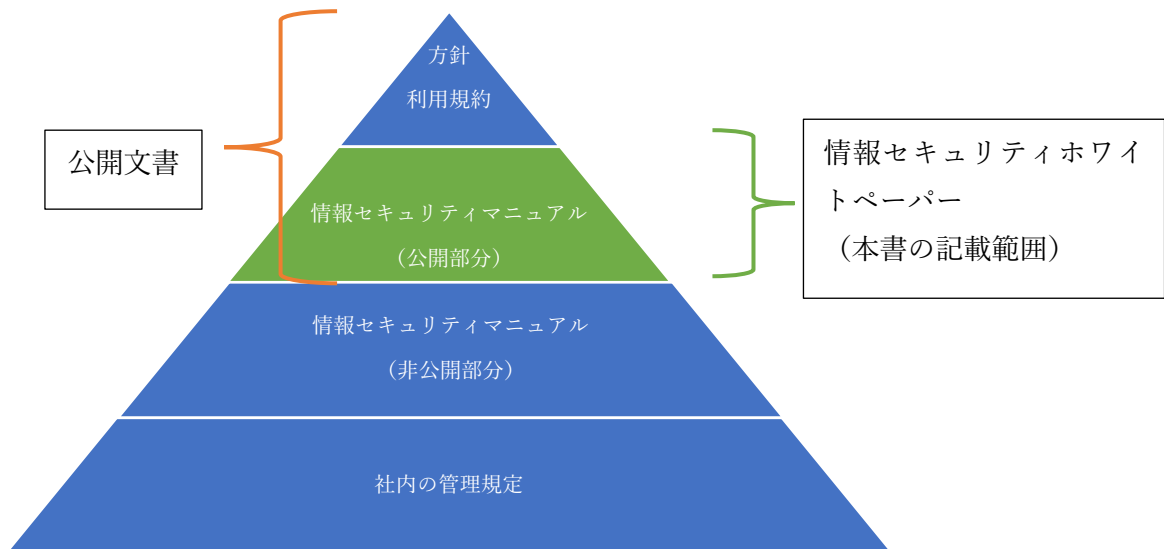
1.2. 注意事項

お客様のセキュリティチェックシートへの回答ご要望の際には、お客様にて本文書を確認し内容をご入力いただき、セキュリティチェックシートの項目のうち、本文書で説明のない項目のみヒアリングさせていただきたく形をお願いいたします。当社のセキュリティ対応の概要を巻末の[セキュリティチェックシート](#)に掲示しますのでご確認ください。

なお、セキュリティの観点から、本文書より詳細なセキュリティやシステム情報の提供は原則として行っておらず、より詳細な情報開示の請求についてはお断りさせていただきたく場合があります。あらかじめご了承ください。

1.3. 本文書の位置付け

本文書は、当社のセキュリティ文書として管理されているものであり、当社が公開すべきと判断した一部の条項及び技術情報についてのみ外部公開されます。



本文書以外の、情報セキュリティ関連の外部公開文書は以下の文書が存在します。方針及び利用規約の記述について本書との差異がある場合は、上位文書（方針及び利用規約）の内容が優先されます。

| | 公開文書名 | 概要 |
|---|------------------------------|------------------|
| 1 | プライバシーポリシー | 当社の個人情報保護方針 |
| 2 | 情報セキュリティ基本方針 | 当社の情報セキュリティ基本方針 |
| 3 | 特定商取引法に基づく表記 | 当社の特定商取引法に基づく表記 |
| 4 | 利用規約 | 当社の提供するサービスの利用規約 |

2. サービス利用時のセキュリティ上の注意点

当社のサービスを安全にご利用いただくためにご注意いただきたい事項を、以下に記載します。

2.1. 対象とする環境

当社サービスを利用するために必要な環境について記載します。また、お客様の環境に関する質問事項や作業のご依頼に関しては当社でお受けできません。

2.1.1. 利用環境

2.1.1.1. LeCHECK

当サービスは、PCからのブラウザ利用を想定しており、Windows、MacOSの環境で動作します。また、利用にはブラウザが必要となりGoogle Chrome、Microsoft Edgeの最新バージョンでのご利用を推奨いたします。（他のブラウザでの正常な動作は、当社は保証しておりません。）

2.1.1.2. LeCHECK Word アドイン

当サービスは、PCにインストールいただく必要があります。WindowsとMacOSのMicrosoft Office環境でWordアドインをインストールする事により動作します。

また、利用にはブラウザが必要となりGoogle Chrome、Microsoft Edgeの最新バージョンでのご利用を推奨いたします。（他のブラウザでの正常な動作は、当社は保証しておりません。）

2.1.1.3. LeTRANSLATE

当サービスは、PCにインストールいただく必要があります。WindowsのMicrosoft Office環境でWordアドインをインストールする事により動作します。

2.1.2. インターネット環境

当サービスは、インターネットアクセスのみ提供しており、専用線やVPNによる当社サービスへの直接の接続は提供しておりません。

2.1.3. ログインセッション

ログインセッションは12時間でタイムアウトとなります。
セッションがタイムアウトした際には、再度ログイン認証をする必要がございます。

2.1.4. Cookie の取り扱い

当サービスは、現在 Cookie を利用した実装は行っておりません。なお、サードパーティー Cookie については利用者の行動分析などの為に利用しておりますが、Cookie を無効化いただいてもシステムの動作に影響ございません。

なお、上記の動作は将来に渡り約束されるものではなく、Cookie を利用した機能が実装される可能性があることを予めご了承ください。

2.2. アカウントの管理

当社より発行されるアカウント（ユーザ ID 及びパスワードまたはライセンスコード）の情報についてはお客様にて秘密情報として管理いただき、他へ漏洩しないようご注意ください。

また、アカウントについては個人での発行となりますので組織内でのアカウントの共有を行わないでください。セキュリティの観点からも、利用しないアカウントについては停止する事を推奨いたします。

2.3. アクセス許可

お客様の環境でアクセス制限を行っている場合にはサービスが利用できない場合がございます。

2.3.1. アクセス許可すべき URL

お客様の環境で外部 URL へのアクセス制限を行っている場合、当社サービスをご利用いただけません。当社サポート窓口ご連絡しアクセス許可を行うべき URL を設定いただく必要がございます。

2.3.2. アクセス許可すべきメールアドレス

お客様の環境でメールの除外設定を行っている場合、システムからのメールが受信できない場合がございます。許可を行うべきメールアドレスは当社サポート窓口にお問い合わせください。

2.4. お客様の情報について

サービス利用停止後、1ヶ月以内にお客様の作成・保存いただいたすべてのデータが論理削除されます。データの削除証明が必要な場合は利用停止申請時にサポート窓口までご連絡ください。

3. セキュリティへの取り組み

当社でサービスを提供するにあたり実施しているセキュリティへの取り組みを、以下に記載します。

3.1. 組織の情報セキュリティ

株式会社リセの組織情報及び組織として実施している組織的セキュリティ対策は以下のとおりです。

3.1.1. データの保管場所と法管轄

当社は日本の法人であり、本社所在地は東京となります。サービスは Amazon Web Services (AWS) を中心に、Google Cloud Platform (GCP)、Microsoft Azure などの複数のパブリッククラウドを、各サービスが公開している利用規約に従って、利用し、構築しております。

なお、AWS との利用契約においては準拠法を日本とする契約を締結しておりますので、当該利用契約の解釈には、日本法が適用されます。このように海外法の適用によるカントリーリスクを可能な限り排除しております。また、クラウド環境下で利用するデータおよびバックアップデータ各社が管理するデータセンターの日本国内のリージョン内に保管されます。

システムの電源、冷却設備等を含めた物理構成や冗長化の有無、データセンターでの防犯設備、入退室管理、監視体制等については [\[AWS コントロールセンター\]](#) の見解をご確認ください。

当社で利用する個人情報については、お客様の連絡先情報となり日本の個人情報保護法が適用されます。現在、海外からのサービス利用は許可していないため、EU 一般データ保護規則 (GDPR) などの適用範囲外となります。

3.1.2. お客様との個別の契約

お客様が当社サービスを利用するには利用規約に同意いただく必要がございます。また、ご希望のお客様については当社と秘密保持契約を締結する事も可能です。

3.1.3. データの閲覧制限

3.1.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

システムの不具合調査のため契約書データにアクセスする必要がある場合には、お客様の許可を得た上で、当社の所属弁護士が守秘義務を負った上で確認します。

3.1.3.2. LeTRANSLATE

お客様のデータは当社サーバ上に保管されません。

3.1.4. データ利用

3.1.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

本サービス向上の目的で、お客様のデータを匿名化した状態で利用する場合があります。得るものとします。

3.1.5. 公的認証取得

株式会社リセは情報マネジメントシステム認定センター(ISMS-AC)が運営する、ISMS 適合性評価制度における各種認証を取得しています。

- ・ ISMS 認証： JIS Q 27001:2014 (ISO/IEC 27001 : 2013)
- ・ ISMS クラウドセキュリティ認証： JIP-ISMS517-1.0 (ISO/IEC 27017 : 2015)

3.1.6. セキュリティに関する第三者評価

当社サービスは年に1回外部の診断会社より Web アプリケーション診断、インフラを対象にネットワーク診断(プラットフォーム診断)、およびクラウド診断を受けております。Web アプリケーション診断の項目については「[安全なウェブサイトの作り方](#)」「[OWASP TOP10](#)」に記載された脆弱性を網羅的に実施しております。

なお、診断結果は公開およびお客様への開示はしていません。

3.1.7. 従業員のセキュリティ教育

当社の従業員は入社時及び年に1回情報セキュリティ教育を実施します。教育結果は効果測定を行い従業員のセキュリティへ意識を啓蒙するものとします。

教育の中ではセキュリティに対する啓蒙のみでなく、情報資産の正しい扱い方についてもルール化を行い、ウイルス感染の予防や情報漏洩の防止などの対策について社員教育の一環として実施するものとします。

3.1.8. お客様への通知

サービスの稼働状況について次の事象が発生した際に当社にて通知が必要であると判断した場合にはホームページ、ログイン画面、メールや電話などで通知します。

- ・ インシデントの発生
- ・ 緊急停止
- ・ 計画停止
- ・ システムアップデート時

3.2. 物理的セキュリティ対策

当社の組織情報及び組織として実施している物理的セキュリティ対策については以下のとおりです。

3.2.1. オフィスの入退室制限

当社のオフィスは常に施錠管理されたゾーンで作業を行い入退室カードにより入室を制限しています。

3.2.2. 情報端末の管理

当社では情報端末を利用するにあたり、資産管理番号により管理された情報端末が、各従業員に貸与されます。また、ウイルス対策ソフトを導入し、ストレージなどの保存領域は暗号化を行うものとします。当社では情報端末内の業務情報の保管に外部記録媒体を利用せずクラウド上に保管します。帰宅時には施錠を行い紛失防止に努めます。

3.3. サービスの運用

サービスは24時間365日提供されます。突発的な障害などを除きメンテナンスなどの計画停止は原則として平日18時以降もしくは休日に行われます。サポート窓口については平日10:00～17:00（土日祝日除く）の営業時間となっております。

3.3.1. OS 及びソフトウェアの更新

バージョン情報や脆弱性情報は常に最新の状態を確認し重要度に応じて即時もしくはメンテナンス（更新頻度は公開しておりません）にてソフトウェアの更新を行います。

3.3.2. サービスの稼働率

サービスの稼働率は非公開となります。

3.3.3. セキュリティ機器の設置

当社サービスにて設置される情報セキュリティ機器を以下に記載します。

| | 目標値 | 概要 |
|---|-------------|---|
| 1 | WAF の導入 | WAF の導入し、Web アプリケーションへの HTTP リクエスト制限している。 |
| 2 | IDS/IPS の導入 | IDS/IPS の導入し、不正なアクセスを検知し不正なパケットを制限している。 |
| 3 | FW の導入 | FW を導入し、不要ポートへのアクセスを制限している。 |

3.3.4. サービス提供終了時

現段階でサービス提供終了が想定されていませんが、万が一提供終了となる場合は3か月前に利用者様各位へ通知いたします。

3.4. アカウントの発行

サービスを利用するためのアカウント発行はサポート窓口にて承ります。オーナーアカウントを発行致しますので、アカウント発行以降は適宜お客様にてユーザーを作成・編集・管理していただくことができます。作成できるアカウント数は契約の範囲内となります。また、アカウントの削除についてはサポート窓口にお申し付けください。

3.5. 認証機能

サービスをご利用する際にはご登録いただいたユーザ ID とパスワードを入力し認証していただく必要があります。

3.5.1. 設定できるパスワード

3.5.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

設定できるパスワードは 12 文字以上で、アルファベット、数字、記号が設定できます。アルファベットについては大文字と小文字は区別されます。

3.5.1.2. LeTRANSLATE

インストール後にライセンスコードを入力することでご利用が可能です。パスワード認証機能はございません。

3.5.2. アカウトロック

3.5.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

6 回以上ログイン失敗すると、アカウントが 20 分間ロックされます。2 時間以内に 5 回ロックされるとアカウントが完全にロックされてしまいます。ロックされたアカウントについてサポート窓口にご連絡いただく事で解除できます。

3.5.3. IP アドレスの制限

3.5.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

指定された IP アドレス以外からのシステムへのアクセスを禁止する設定を行う事ができます。設定についてはサポート窓口までお問合せください。また IP アドレスの固定化を目的とした VPN 接続等を行う場合は、お客様にて環境の準備が必要となります。

3.5.3.2. LeTRANSLATE

IP アドレスによるアクセス制限機能は提供しておりません。

3.5.4. 多要素認証

現在、多要素認証によるログイン機能は提供しておりません。

3.5.5. シングルサインオン

現在、 SAML や OAuth などシングルサインオンによるログイン機能は提供しておりません。

3.6. 認可機能

サービスをご利用する際に、利用するアカウントにオーナーユーザー、管理者ユーザ、一般ユーザを指定する事ができます。

3.6.1. アクセス権

3.6.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

企業における契約書を管理するサービスであることから、登録した契約書については同じ組織に所属するユーザであれば誰でも閲覧・編集・削除する事が可能です。

3.6.2. 不正アクセスの検知

3.6.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

不正アクセスを常時監視しております。

3.6.3. 入力データ形式の確認

3.6.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

サービスで利用できるファイルのタイプを確認行います。ファイルの拡張子・マジックバイト・MIME タイプがシステムで許可された形式でない場合アップロードできません。

3.7. 暗号化

当社サービスでは重要情報は暗号化を行い保護されます。また、暗号技術を採用する際には、CRYPTREC の [「電子政府推奨暗号リスト」](#) に従い危殆化していない暗号技術を利用し暗号化を行っております。

3.7.1. 通信の暗号化

全ての通信の SSL 化を行っております。暗号通信方式は CRYPTREC の [「TLS 暗号設定ガイドライン」](#) に従い、TLS 1.2, 1.3 を利用しております。

3.7.2. データの暗号化

3.7.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

保管される契約書等の重要情報は全て暗号され保存されます。暗号化方式はパブリッククラウドが提供する標準機能を利用し AES-256 形式で暗号化を行い保管されます。

3.7.3. パスワードのハッシュ化

3.7.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

保管されるパスワードはソルトを加えハッシュ化（不可逆暗号化）された状態でデータベース上に保管されます。

3.8. サービス基盤の構成

サービス基盤はパブリッククラウド環境を利用し構築し冗長構成を採用しております。このため当社でのサーバに対する物理的なセキュリティ対策は行われておりません。

3.8.1. マルチテナント構成

当社サービスはマルチテナント型でのみの提供となり、お客様の専用環境でのサービスを構築することはできません。また、データベースやサーバのテナントごとの分離は行っておらず論理レベルでアクセス制御を行っております。

また、お客様毎に専用のサブドメインを払い出すことや、アクセス先URLをカスタマイズすることはできません。

3.8.2. システム構成

システム全体の構成は非公開としますが、耐障害性や災害時の復旧性を考慮したシステム構成とします。また、オートスケーリングによりシステムの負荷状況に応じて、自動的にスケールイン・スケールアウトを行いシステムの安定稼働を目指します。

開発環境とステージング環境が準備されており、リグレッションテストを実施し検証を行った上で本番環境に反映しております。

3.8.3. マルウェアの検知

パブリッククラウド側でマルウェアに感染した際の不審なアクティビティを検知していません。

3.8.4. DDos 攻撃への対応

パブリッククラウド側で DDos 攻撃への対策を行っております。

3.8.5. クロックの同期

パブリッククラウド側で時刻の同期を行っております。

なお、お客様へ時刻同期機能の提供は実施しておりません。

3.9. バックアップ

お客様のデータのバックアップを取得しております。バックアップは障害や災害時のデータ消失に備えた対策となり、お客様の誤操作等によるデータ紛失時の復旧機能としては提供しておりません。また、お客様へのバックアップデータの提供は行っておりません。

3.9.1. バックアップの対象

3.9.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

お客様よりお預かりした契約書等の重要なデータはバックアップされます。

3.9.2. バックアップの周期

3.9.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

日次の差分バックアップ、月次の完全バックアップを行っております。

取得したバックアップは 30 日間保管されます。

3.9.3. バックアップの管理

3.9.3.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

データは持ち出し可能な外部媒体への保管は行わず、全てクラウド上に保管されます。

3.9.4. バックアップからの復旧

3.9.4.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

サービスの運用にあたりサーバ障害や災害に備えた定期的なバックアップを行っております。復旧までの目標値は非公開となります。

お客様からのご依頼での復旧作業は対応しておりません。

| | 復旧目標値 | 概要 |
|---|---|------------|
| 1 | 目標復旧地点 (RPO: Recovery Point Objective) | 設定しておりません。 |
| 2 | 目標復旧レベル (RLO: Recovery Level Objective) | 設定しておりません。 |
| 3 | 目標復旧時間 (RTO: Recovery Time Objective) | 設定しておりません。 |

3.10. ログ

システムの運用で発生するログ情報が保存されます。

お客様へのログ情報の提供やログの詳細に対するご質問への回答は行っておりません。

3.10.1. ログの対象

3.10.1.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

取得するログの種別については、アクセスログ、システム変更ログ、アプリケーションログとなります。

3.10.2. ログの保管期間

3.10.2.1. LeCHECK、LeCHECK Word アドイン

システムの運用で発生するログ情報の保存期間については1年間以上となります。

3.11. データ管理機能

3.11.1. 利用履歴の閲覧機能

ログイン履歴やポイント利用履歴等を確認いただける機能は提供しておりません。

3.11.2. お客様によるデータ復元機能

お客様の誤操作などによるデータ復旧機能は提供しておりません。

3.12. 決済機能

3.12.1. 電子決済

電子決済機能は提供しておらず、クレジットカード等の決済情報はシステム内に保存されません。

3.13. 機能の外部公開

3.13.1. 公開 API

現在、公開 API は提供しておりません。

4. Appendix

4.1. セキュリティチェックシート

当社サービスのセキュリティに関する質問への回答事項について以下にまとめます。詳細な対策内容については本文書の本文をご確認ください。

| 項目 | | 対応状況 |
|------|----|--|
| 1-01 | 組織 | 企業の所在 本社所在地：東京 データの保管場所と法管轄 |
| 1-02 | | データ保管場所と法管轄 日本 データの保管場所と法管轄 |
| 1-03 | | 情報取扱者の制限 お客様の契約書データについては当社システム管理者では閲覧できない データの閲覧制限 |
| 1-04 | | 公的認証取得 ISMS 認証および ISMS クラウドセキュリティ認証を取得済 公的認証取得 |
| 1-05 | | アプリケーションの第三者評価 外部の診断会社で年に 1 回診断を実施 アプリケーションの第三者評価 |
| 1-06 | | 秘密保持契約の締結 希望するお客様は締結が可能 お客様との個別の契約 |
| 1-07 | | サービス利用者への通知 大規模障害や長期停止時に実施している お客様への通知方法 |
| 1-08 | | 従業員のセキュリティ教育 実施している 従業員のセキュリティ教育 |
| 1-09 | | データの第三者提供 利用規約を参照 利用規約 |
| 2-01 | 物理 | オフィスの入退室管理 実施している オフィスの入退室制限 |
| 2-02 | | 情報端末の管理 実施している 情報端末の管理 |
| 2-03 | | 物理的なセキュリティ対策 実施している セキュリティ機器の設置 サービス基盤の構成 |
| 3-01 | | サービス利用時間 24 時間 365 日 |

| | | | |
|------|-------------|-----------------------------------|--|
| | 可 | | サービスの運用 |
| 3-02 | 用 性 | サポート窓口 | 電話、メール、システム内のお問合せ サービスの運用 |
| 3-03 | | サービスの稼働率 | 稼働率の目標値を設定している サービスの稼働率 |
| 3-04 | | クロックの同期 | 対応している クロックの同期 |
| 3-05 | | 高負荷に対する対応 | 高負荷などに対してはスケールアウトにて対応 システム構成 |
| 3-06 | | ソフトウェアのアップデート | 対応している OS 及びソフトウェアの更新 |
| 3-07 | | 耐災害性 (ディザスタリカバリ) | 日本リージョンの複数拠点でデータのバックアップを取得している お客様への通知方法 システム構成 バックアップ バックアップからの復旧 |
| 3-08 | | 耐障害性 (フォールトトレラント) | サービス基盤の冗長化を実施している お客様への通知方法 システム構成 バックアップ バックアップからの復旧 |
| 3-09 | | DDos 攻撃への対策 | 対応している DDos 攻撃への対応 |
| 3-10 | | ユーザの管理機能及び権限設定 | 対応していない ユーザの管理機能及び権限の設定 |
| 3-11 | | 利用履歴の閲覧機能 | 対応していない 利用履歴の閲覧機能 |
| 3-12 | 電子決済 | 対応していない 電子決済 | |
| 3-13 | 公開 API | 対応していない 公開 API | |
| 4-01 | 機 密 性 | 認証機能の提供 | 提供している 認証機能 |
| 4-02 | | アカウントロック機能の提供 | 提供している アカウントロック |

| | | | |
|------|-----|-------------------------|---|
| 4-02 | | IP アドレスによるアクセス制限機能の提供 | 提供している IP アドレスの制限 |
| 4-03 | | マルチテナント構成への対応 | 対応していない マルチテナント構成 |
| 4-04 | | 多要素認証機能の提供 | 提供していない 多要素認証 |
| 4-05 | | シングルサインオン機能の提供 | 提供していない シングルサインオン |
| 4-06 | | 認可機能の提供 | 提供している 認可機能 アクセス権 |
| 4-07 | | 不正アクセス検知機能の提供 | 提供している 不正アクセスの検知 |
| 4-08 | | FW の対応 | 対応している セキュリティ機器の設置 |
| 4-09 | | WAF の対応 | 対応している セキュリティ機器の設置 |
| 4-10 | | IPS/IDS の対応 | 対応している セキュリティ機器の設置 |
| 5-01 | 完全性 | 障害復旧までの時間目安 | 設定している バックアップからの復旧 |
| 5-02 | | 障害復旧の復元ポイント | 設定している バックアップからの復旧 |
| 5-03 | | データバックアップ | 対応している バックアップ |
| 5-04 | | バックアップの周期 | 設定している バックアップの周期 |
| 5-05 | | バックアップの期間 | 設定している バックアップの保管期間 |
| 5-06 | | ログの取得 | アクセスログ、システム変更ログ、アプリケーションログを取得 ログの対象 |
| 5-07 | | お客様によるデータ復元機能 | 対応していない お客様によるデータ復元機能 |
| 5-08 | | 不正アクセス発生時の追跡性（トレーサビリティ） | 対応しており、個別での追跡が可能 不正アクセスの検知 |

| | | |
|------|-------------|---------------------------------------|
| 5-09 | マルウェアの検知 | 対応している マルウェアの検知 |
| 5-10 | 通信経路の暗号化 | 対応している 通信の暗号化 |
| 5-11 | データの暗号化 | 対応している データの暗号化 |
| 5-12 | パスワードのハッシュ化 | 対応している パスワードのハッシュ化 |
| 5-13 | 入力データ形式の確認 | 対応している 入力データ形式の確認 |

4.2. 改定履歴

| 版 | 日時 | 概要 |
|-----|-------------|---|
| 1.0 | 2022年12月19日 | 初版発行 |
| 1.1 | 2023年2月1日 | ログの章分け、誤記修正 |
| 1.2 | 2023年3月1日 | Cookieの取り扱いを追記、誤記修正 |
| 1.3 | 2023年4月1日 | ソルトの利用と通知手段を追記 |
| 1.4 | 2023年12月1日 | 各種復旧目標値について追記 |
| 1.5 | 2024年1月1日 | ISMS関連の認証取得に伴う内容変更 3.1.8 通知手段の追加 3.2.1 オフィス移転に伴う入退出管理簿の内容削除 |
| 1.6 | 2024年4月1日 | 3.1.6 項目名の変更と診断種別の追加 3.7.1 TLS1.3対応の追加 お問合せ先メールアドレスの変更 |

この資料に関するお問合せ先

株式会社リセ
isms@lisse-law.co.jp